

平成29年度 評価・反省

幼保連携型認定こども園 ゆたか第二保育園

	たんぽぽ（0歳児）		ちゅうりっぷ（1歳児）		ばら（2歳児）
生活とあそび	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に新入園児1名で、1歳児と合同保育を行っていたが、1歳児と同じように動くことができていた。身の回りの事もまわりを見て「自分でやりたい」という芽生えが出てきていた。7月・11月入園の子は泣くことも多かったが、保育教諭の声掛けや、スキンシップなどを通して、園生活に慣れることができ、1歳児と関わりを持ちながら、楽しく遊ぶことが出来るようになった。保育教諭の問いかけに返事をしたり、あいさつをしたりが出来るようになってきた。</li> </ul>	生活とあそび	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊びでは、ブロックを使い、車を作ったり鉄砲を作ったり、考えて遊びを行えた。</li> <li>戸外遊びでは、三輪車が人気で、自分の足でこいて、園庭を楽しく走り回る姿が見られた。</li> <li>友達との関わりや興味も出てきて、一緒にの玩具を使い、側で遊ぶ姿も見られ、保育教諭が間に入り、ごっこ遊びや見立て遊びが行えた。</li> <li>友達との関わりの中で、玩具の取り合いや、噛んでしまったりすることもあったが、その都度保育教諭が間に入り、話をする事で「ごめんさい」や「いいよ」、また玩具の貸し借りで「かして」や「どうぞ」など言葉でのやり取りが徐々に出来るようになった。</li> <li>生活では、身の回りの事を自分でしようとする姿が見られ、衣服の着脱や靴の脱ぎ履きなど、後半になるにつれてスムーズに行えるようになった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの事に対して、意欲的に行う姿が増えた。後半、朝の身支度では、自分の持ち物や場所を覚え、進んで行く姿が見られた。</li> <li>衣服の着脱では、上着を脱ぐことができるようになってきた。衣服の前後にも気づき、直そうとする姿も増えてきた。</li> <li>遊びでは、始め好きな遊びを思い思いに遊ぶ姿があった。言葉が増え始めると、友だちに声を掛け、砂場でごっこ遊びや滑り台、ブロックで遊ぶ姿が増えた。後半になると、気の合う友達に声を掛け、遊びに誘い、会話をしながら過ごしていた。その中で、玩具の取り合いや自分の思いが通らないと、手が出てしまったり、乱暴な言葉になってしまう事があった。お互いの気持ちを受け止めながら、相手の思いを伝え、解決方法を伝えていった。始めは、納得するまでに時間がかかる事もあったが、自分の思いを少しずつ伝えられるようになると、納得する事が出来るようになった。</li> </ul>
保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が気軽に話せる雰囲気づくりをめざし、常に保護者の気持ちに寄り添い、共感できるよう努めた。送り出しの際、保護者にその日の様子を細かく伝え、保護者が安心して保育園に預けられるよう色々な面で工夫し、伝える事が大切だと思う。</li> </ul>	排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレトレーニングを始めた子もいて、パンツで過ごすことに慣れようとする姿が見られた。声を掛け、トイレに誘い、排泄が行える子もいて、成功したときは、大いに褒め、子ども達のやる気や自信につなげることができた。また、排便時には、出たことを教え、清潔に保ち、快適に過ごすことができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄では、個々に合わせ、無理なく進めていった。トイレで、タイミングが合うと、排尿することも増え、日中、午睡時はパンツで過ごして。尿意、便意を感じる事が出来る様になると「おしっこがしたい」「トイレいく」と保育教諭に声を掛け、トイレに行く姿が増えた。男女で、排尿、排せつの仕方やトイレの使い方を全体や個々でも丁寧に伝えたことで、意識しながら行う姿があった。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半は、手づかみで食べていたのが、後半は、右手でスプーンが持てる様声掛けを行い、自分から積極的に出来る様心掛けた。子どもの気持ちを大切にしながら、食事が楽しくできる様声掛けを行った。</li> </ul>	食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜が苦手な子どももいるが、少しずつ食べる事に慣れていき、食べられたときは褒め、子どもの自信につなげた。また、「おいしいね」や「にんじん」など食べ物に対して興味を持ち、楽しみながら食事が行えた。スプーンやフォークを正しく使い、下手持ちに徐々に慣れていった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的におかわりをする姿があり、苦手な食べ物も、一口でも食べる姿があった。スプーン、フォークの持ち方では、初め下から握ることができる様に声尾を掛けていった。その後、正しい持ち方を伝えていった。子ども達が理解しやすいように「バキューンで持とうね」と声を掛けていった。年明け、箸へ移行。正しい持ち方が出来る様に、正しい持ち方を見せながら、個々に声を掛けていった。</li> </ul>
健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤飲・誤食がないよう広いスペースを作り、活動範囲（探索活動）が広く行えるようにした。普段から、薄着の習慣を身に付け、動きやすい服装を心掛け、子ども達が転倒・怪我がないよう保育教諭で常に話し合い、保育を行った。</li> </ul>	健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外・室内遊びで危険がないか確認し、また体力もつき、活発に動くため、怪我や転倒には十分注意し、保育を行った。</li> <li>戸外遊びの後には手を洗い、おやつの前には手を消毒し、清潔に保ち、感染症にならないように留意した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>気温のあわせ、衣服の調整をしたり、一人一人の健康状態に気を配っていった。活動範囲もさらに増えていったので、安全に遊ぶことができる様に、遊具の使い方を伝えた。手洗い・うがいの仕方も知らせていった。</li> </ul>
行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会では、全員参加できたが、発表会では3名欠席の2名の参加であった。運動会・発表会共に泣かずに親子で楽しく参加出来た。</li> </ul>	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と子どもの情報を共有し、子どもの様子や体調の変化などを把握し、保育を行った。</li> <li>登降時に子どもの様子を伝え、連絡事項などもノートや口頭にて話をする事ができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、園での様子を密に連絡を取り合い、その中で2歳児の成長について伝えていった。友達と遊ぶ姿や生活の中で、できるようになったことなどを伝え、子どもの成長を喜び合えるようにした。</li> </ul>
全体として	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな病気やけがもなく1年間過ごすことができ、嬉しく思う。保育教諭の声掛けや動きかけが子ども達にとってどれだけ大切な事か、改めて感じる事ができた。</li> <li>保護者が安心して保育園に預けられる雰囲気づくりを心掛け、おたより帳を活用し、保護者が気軽に話せるようなノート作りを心掛けた。</li> <li>0歳児に必要な声掛け、スキンシップを通して、信頼関係が持てる様日々の保育に努めた。</li> </ul>	全体として	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の関わりも増え、言葉数も増え、コミュニケーションが図れるようになり、進級に向けての意欲も出てきた。特に体調を崩すことなく元気に過ごすことができ、トイレトレーニングでもパンツに慣れ、排泄がトイレで出来たことを喜ぶ姿が見られ、保育教諭も一緒に共感することができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの事や行事等を通して、できるようになったことが増えたことで、自身がつき、後半、意欲的に行動をする姿が見られた。自分の気持ちや考えを言葉で表せるようにもなった。</li> </ul>

平成29年度評価 反省（3歳以上児）

<p><b>養護</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約束事を確認することで、落ち着いて活動に参加することができるようになった。</li> <li>・生活の中で、時計を取り入れた活動をしてきたことで、時間を意識し、行動をとるようになった。</li> <li>・活動に集中する時間がのび、一度途切れても再開し、また続けられるようになった。</li> </ul>
<p><b>教育</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを言葉で表すことが苦手だった子が、気の合う友達とよく話をしたり、活発に遊んだりするようになった。集団遊びのルールも理解できるようになり、一緒に楽しめるようになった。また、遊びや活動を楽しむことはできるが、困った事や出来ないことが出てくると、緊張したり戸惑ったり、自分で解決することができなかった。保育教諭と一緒に考えて解決方法を伝えたりしていくうちに、少しずつ自信が付き、自ら伝えるようになった。</li> </ul>
<p><b>食育</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を通して「食事の際のあいさつ」「食べる姿勢」「食器の持ち方」「配膳の方法」「箸の持ち方」等指導するとともに、野菜の収穫やクッキングを通して、食べ物ができるまでを知ることができて、食べ物に関心を持つようになった。苦手なものも食べ方の順番を工夫し、食べられるようになった。</li> </ul>
<p><b>健康・安全</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具の消毒や遊具の安全点検をこまめに行った。</li> <li>・「手洗いの仕方」「うがいの仕方」「衣服の調節」「脱いだ服をたたむ」などの援助を行い、一人一人が身につけて生活を送れるようになった。</li> <li>・ルールや約束事を話すことで、安全に遊べることができた。</li> </ul>
<p><b>保護者支援</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携を図ることができる様、日々の様子を伝え合えるよう心掛けた。子ども達の頑張っていることや、出来たことを伝え、共に成長を感じる事ができるようにした。連絡事項についても、保育教諭同士も連携をとり、引き継ぎを行い、伝えられるようにした。</li> </ul>
<p><b>異年齢児の関わり</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同保育を活用し、自分の役割を自覚し、一緒に活動することで、自分は何をしなくてはいけないかを判断したりして、自主的に行動するようになった。4歳児や5歳児の行動を見て、3歳児が行動するようになった。</li> </ul>
<p><b>全体として</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を十分に使った遊びの中で、友だちとかかわる事やルールの大切さなど伝え、協力する楽しさを味わうことができた。</li> <li>・出来たことや頑張っていることは見守り、自信が持てるように声かけを行うとともに、自立心を育てるようにした。</li> <li>・たくさんの行事を経験するに当たり、自信を持つことができた。</li> </ul>